

総社市市民提案型事業

**地域の絆づくり推進事業
— 絆塾の創生 —**

平成30年度事業の概要

西郡地区の絆を推進する会

西郡自治会

山手公民館西郡分館

西郡地区の現状について

山手地区の人口推移



西郡地区は人口が急増

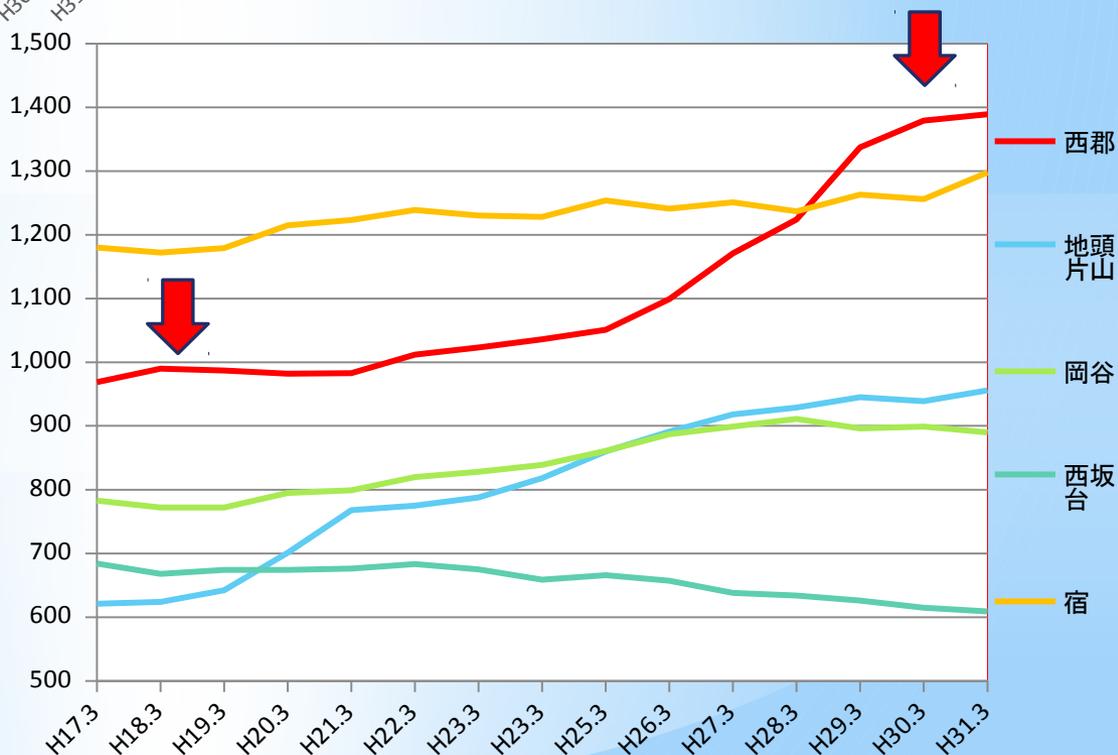
山手地区(西郡)

平成17年3月
(総社市合併時)

4,273人(969世帯)

平成31年3月

5,158人(1,412世帯)



強い絆と優しさで結ばれた活気ある西郡をつくるため、次に示す活動を行っています。

- (1) 住民が急増する西郡において、若い世代や新たに居を定められた住民の皆様に地域の歴史や伝統を継承し、活気ある西郡をつくります。
- (2) 自治会、公民館分館活動、子供会、消防団、地踊り保存会等の地域の諸団体と、地域の懸案事項を協働して考え、解決策を提案できる場をつくります。
- (3) 様々な市民参加型事業を実施し、住民の参加と交流を促進します。
- (4) 地域づくりに意欲ある若手を発掘し、西郡の将来を支える次世代を育成します。

活動のスキーム(地域団体との協働)



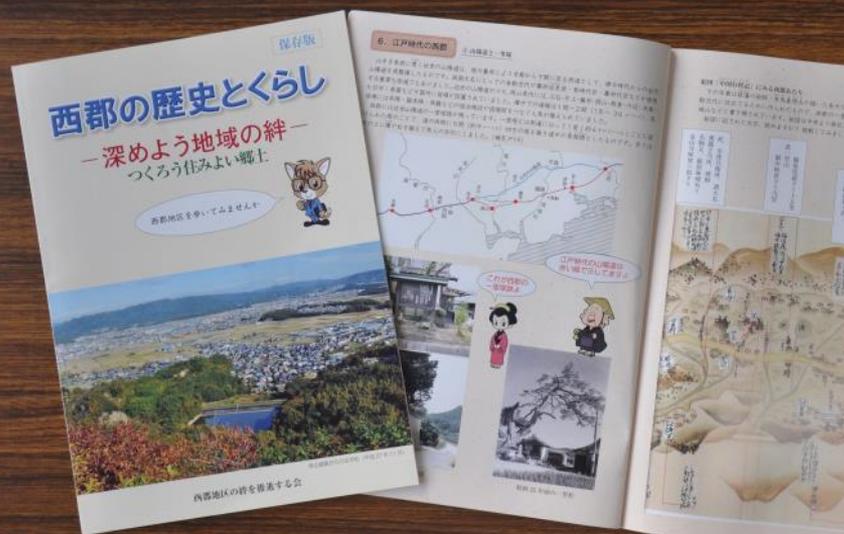
「歴史編」 平成27年度

平成 29 年度 総社市市民提案型事業

西郡の歴史とくらし

[くらし編]

平成29年度



宅地開発により人口が急増する西郡地区において、新しく転入された方々に地域になじんでいただき、**地域の人たちと一緒に活動**していただくためのガイダンスとして本冊子2編を発刊しました。

アパート世帯も含む全戸に配布するとともに、新たに転入された方々には、自治会加入のパンフレットとしても使用しています。

平成30年7月豪雨の発生

真備町、市内(下原・昭和地区)などで甚大な被害が発生



安全・安心の岡山・総社の印象が一変

第2章 くらしの安全と安心 基礎情報の提供 近隣の医療機関

くらし編

暮らしの安全と安心

地区に入居した方々には、地区の医療体制を知ることが最も大切なことから、医療機関を紹介しました。

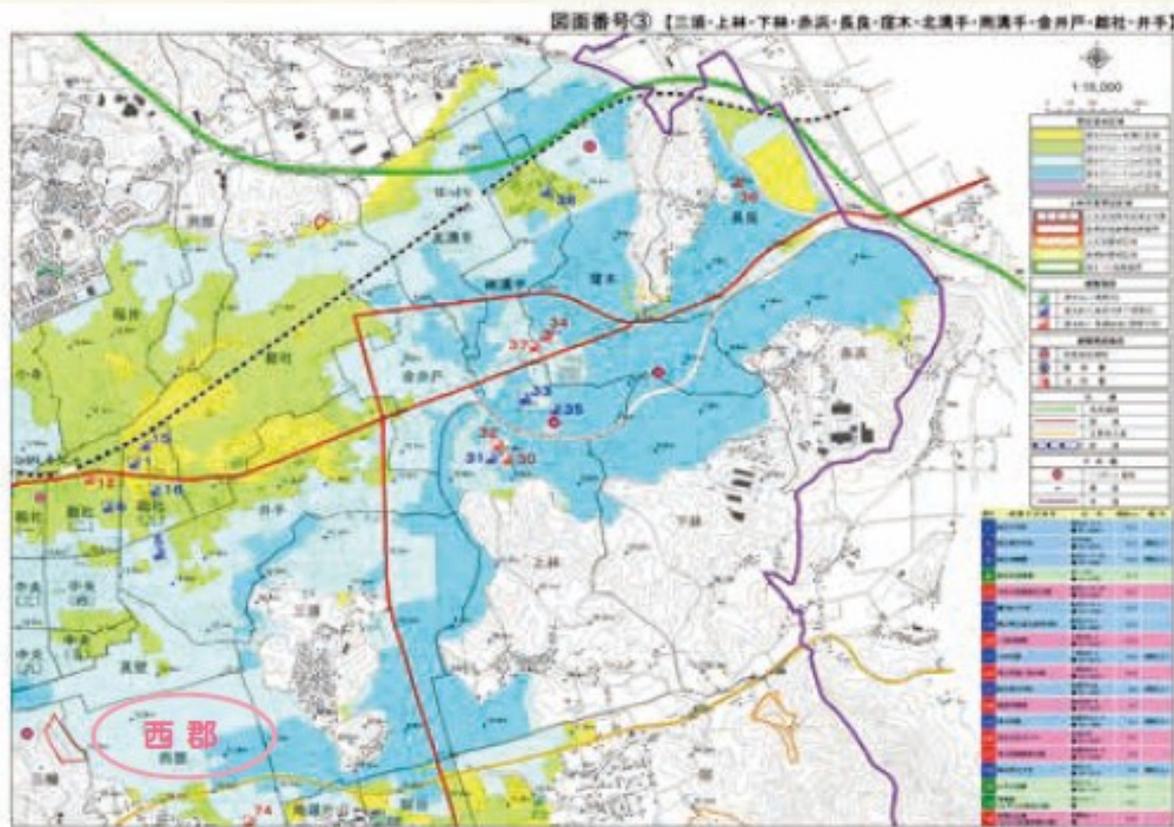
西郡近隣の開業医・病院

| 医療機関名(★救急指定) | 診療科名 | 住所 | TEL |
|----------------|------------------|------------|---------|
| 岡ハートクリニック | 内・循・リハビリ | 岡谷170 | 93-3033 |
| やまてクリニック | 神経内・内・リハビリ | 岡谷121-6 | 92-9200 |
| あさのクリニック | 内・精(老精) | 中央2-3-5 | 93-8808 |
| きび皮膚科形成外科クリニック | 皮・形外 | 中央2-6-36 | 90-2007 |
| くにとみクリニック | 内・児・産・婦 | 門田78-1 | 92-0255 |
| こうら整形外科 | 整形・リウマチ・リハビリ | 中央6-10-103 | 90-2020 |
| さかえ外科内科クリニック | 消・外・内・肛・整形・リハビリ | 真壁212 | 93-8800 |
| 佐藤医院 | 内・消・循・外・リハビリ | 清音上中島166-6 | 93-1606 |
| しおつか泌尿器科クリニック | 泌 | 金井戸168-1 | 90-0055 |
| 杉生クリニック | 内・消・リハビリ | 三須1342 | 92-0252 |
| 診療ドクター杉生 | 循・消・呼・内脳外・外・整形・放 | 門田315 | 92-5771 |
| ... | ... | ... | ... |

吉備医師会ホームページ <http://www.okayama.med.or.jp/kibi/med.html#> 総社地区

休日当番医は、総社市ホームページをご覧ください。 <http://www.city.soja.okayama.jp/>

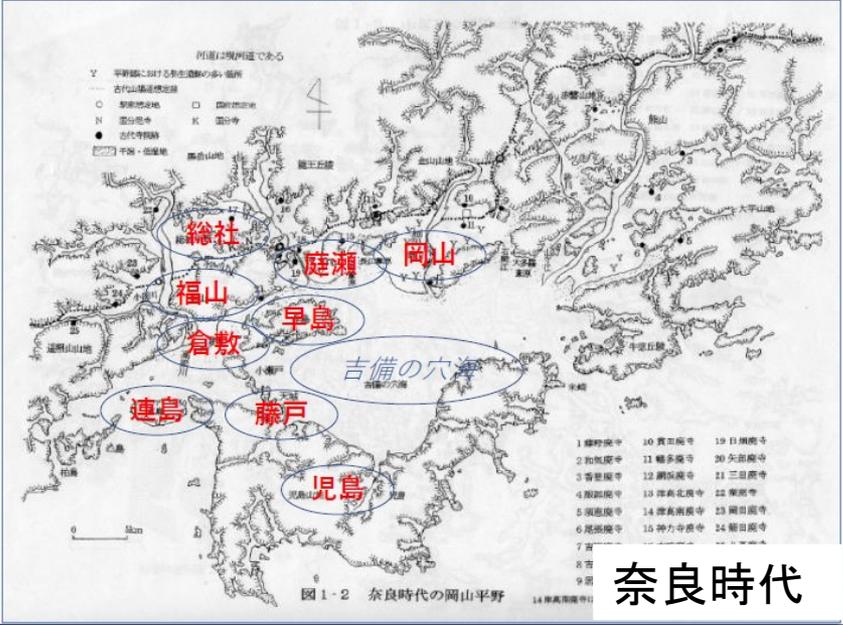
総社市洪水・土砂災害ハザードマップ



しかし、古代は旧高梁川が東進していたことから、西郡の東に広がる水田地帯は浸水の危険があるとされています。

洪水などの警報がでた場合には、総社市から緊急防災情報がFMくらしきから放送されます。防災情報を受信できる緊急告知FMラジオ「こくっち」を避難場所となっている公正館に設置していますので、ご活用ください。

第2章 暮らしの安全と安心 西郡の防災情報に関する基礎情報の提供



地域の安全を確保するためには、地域の歴史を知っておく必要があることから県南部の歴史について紹介し、南海トラフなどの大地震や、豪雨の発生などにより、県南部は水没する可能性があることを紹介しました。

西郡や総社市南部が立地する地域は、古代より数多くの古墳や国分寺が存在するなど、地盤が安定し、災害の少ない地域であったと考えられてきました。

古代の高梁川は現在の井尻野あたりで、東方面に分流して、現在の足守川と合流して南に下っていました。西に分流していた高梁川は、小田川と合流し、東西高梁川として南流し、現在の水島灘に流れ、高梁川は長年あいだ安全の河川と考えられていました。

しかし、平成31年度7月豪雨の発生は、その認識を大きく変えることとなった。

西郡地区

地区 トピックス

「防災講習会」



市建設住宅課から

六月二二日(日)、西郡自治会では山手公民館西郡分館と共催で「防災講習会」を開催しました。岡山は災害が少ないと言われてきましたが、東日本大震災の発生以来、南海トラフ巨大地震の発生が予感され、県からも発生による浸水、被害想定が発表されるなど、県民の関心が高まっております。今回の講習会でも50人近い住民が参加しました。

総社市総務課からは、南海トラフ巨大地震発生メカニズムと発生への備えと発生時の行動について、更に水害、大規模な総社市における発生状況について説明があり、影響発生時には、①単独で行動しない、②地域で互いに助けあう、③情報の迅速な入手(ネット、デジタルテレビ、可搬型などの活用)、④避難が迫ったらすぐに避難所を原則に行動することが大切との説明があった。

六月二二日(日)、西郡自治会では山手公民館西郡分館と共催で「防災講習会」を開催しました。岡山は災害が少ないと言われてきましたが、東日本大震災の発生以来、南海トラフ巨大地震の発生が予感され、県からも発生による浸水、被害想定が発表されるなど、県民の関心が高まっております。今回の講習会でも50人近い住民が参加しました。

は、住宅の耐震診断と耐震改修の大切さと補助金について、市森林課からはため池崩壊による被害想定と改善状況について説明あり、地域に潜むリスクに対して日頃から対応することが大切であると認識できた。

山手駐在所からは、交通事故の発生状況と事故に備わらないための秘訣、振り込め詐欺等の特殊詐欺にあわないための注意点について説明があった。

最後に総社市消防部から、初期消火において消火栓を活用するための実演訓練が行われ、参加者が放水を実際に体験できるなど、有意義な防災講習会となった。

西郡地区では、西郡分館を拠点として、歴史講座、スポーツ大会、ウォーキング、伝承遊び、とんぼ祭り等年間二、三回にも及ぶ公民館活動を活発に行っており、自治会としてもこの活動と協働して地域の活性化に努めています。

(総社市 西郡)

西郡地区の防災への取り組み
平成26年 防災講習会(ほほえみ山手)

総社市市民提案型事業

《防災講演会・防災体験》
地域の災害を知る

入場無料
 先着順



日時: 8月23日(日)13:00~
 会場: 総社市山手公民館

講演会: 13:30~16:00

講演1 岡山県南部で想定される自然災害
 元京都大学防災研究所長 奥田 節夫

講演2 豪雨土砂災害の発生機構と対策について
 (広島市土砂災害の教訓)
 岡山大学大学院教授 西村 伸一

講演3 家族で見てみよう
 総社市の防災サイトとデジタルハザードマップ
 岡山県立大学造形デザイン学科講師 齋藤 美絵子

パネルディスカッション

コーディネーター: 前岡山理科大学教授 野上 祐作
 講演者の他、総社市危機管理室長、消防本部警防隊長

防災体験: 16:00~16:30 総社市消防本部

化学消防車による放水、起震車による地震体験、消火栓を用いた初期消火、操作法などの体験

主催: 西郡地区の絆を推進する会、山手公民館西郡分館、西郡自治会、山手地域づくり協議会
 後援: 総社市、総社市教育委員会、総社市消防本部、総社市社会福祉協議会
 問合せ先: 絆を推進する会事務局(担当: 郷持、TEL 090-8714-5037)

協賛: アグリ元気岡山 農マル園芸吉備路農園



平成27年防災講演会

《防災講習会》 「地域の安全と安心を考える」

日時： 8月21日(日) 9:00～11:30
会場： 西郡分館(公正館)

- 1 身近に感じはじめた気候変動の影響や災害について
(西郡地区の絆を推進する会)
- 2 総社市の危機管理対策と西郡地区の課題(総社市危機管理室)
 - ①防災、水防、地震、土砂災害、ハザードマップ等について
 - ②意見交換会(住民代表との意見交換)
- 3 救急法等講習(総社市消防本部)
 - ①救急法講習(救急処置法、心肺蘇生法、AEDの取扱等)
 - ②防火の基礎知識、緊急消火法(消火器の取扱)等の説明

参加申込先は、西郡自治会評議員または下記責任者をお願いします。

翫持 堅志 93-5260、新谷 修 080-2892-9988
板野 誠 93-6499、翫持 郁夫 080-1922-5459

締切 8月14日(日)



主催： 西郡地区の絆を推進する会、山手公民館西郡分館、西郡自治会
協賛： アグリ元気岡山 農マル園芸吉備路農園

平成28年 防災講習会



「緊急告知ラジオ こくっち」の設置(公正館)

7月6日の豪雨発生時には、その効果を実際に確認できた。また、災害情報の収集に利用できるWi-Fiや共用パソコンなども整備している。

住民の交流、情報伝達体制の充実

情報機器
の活用と
地域情報の
収集と保存



共用パソコン2台を活用し、公正館で様々な資料を作成したり、会議に必要な情報をリアルタイムに閲覧ができる態勢を整えた。農マル園芸から寄贈いただいたモニターは、駐車場に設置して自治会総会の様子を中継するなど活用している。

絆塾ニュースの全戸配布による災害情報の周知 (全ての地域行事が中止される危機に直面)



『絆塾』ニュース (平成 30 年 8 月号)

西郡地区の絆を推進する会
西郡自治会、公民館西郡分館

このたびの豪雨災害で真備町や市内などで亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

今回の災害により、地域防災に取り組む重要性が再認識されました。今後、本会は地域の諸団体と協働して、地域の安全と安心の確保を最重点課題として取り組む所存です。

西郡地区の絆を推進する会 会長 板野 誠

1 平成 30 年 7 月豪雨災害と今後の活動について

7月6日から8日にかけての大雨は、倉敷市真備町や市内下原・昭和地区をはじめ県内全体に甚大な被害が生じました。

幸い山手地区では、人的被害の報告はありませんでしたが、大規模な田畑の冠水、各地区(福山・宿・同谷)で山崩れの発生など、豪雨災害の恐ろしさを実感しました。

今回の災害により、地域の安全と安心を守ることの重要性を再認識させられたことから、今後地域防災を重点課題として取り組みます。まず第一段として、裏面に西郡周辺の洪水ハザードマップを掲載しますので、ぜひご覧ください。

また、今回の豪雨で生じた近隣の山崩れや冠水の状況などを調査し、その状況を皆様にご報告したいと考えています。

地域の安全を子どもたちが祈る木野山様巡幸までも中止される寸前に

2 木野山様の巡幸結果について

豪雨災害の直後でかつ猛暑の中でしたが、7月15日(日)に恒例の木野山様の巡幸を行い、地区内の家々を子どもたちがお訪ねし、地区の皆様とともに、今年1年の安全と健康をお祈りできました。

なお、地区の皆様から子どもたちにいただいたお供えの一部に、自治会など地区内諸団体からの皆様の篤志を加えて、被災された方々への義援金とさせていただきますので、ご了承のほどをお願いいたします。

3 今後の行事予定について

山手公民館が避難所に指定されたことなどから、夏祭りやまてが中止されるなど、様々な影響が出ていますが、8月は次に示す行事を予定していますので、多くの皆様のご参加をお願いします。

- ・8/5(日)午後1時30分～ 映像の映写方法、情報備品等利用説明会(公正館)
- ・8/10(金) 御崎神社 夏祭(わくぐり祭り)
- ・8/14(火) 西郡盆踊り(公正館広場)

(連絡先)

西郡自治会長 風早 恵 携帯:090-6436-2014、メール: team_kazayan_nice@orange.plala.or.jp
西郡分館主事 新谷 修 携帯:080-2892-9988、メール: s.niyya218@hi2.enjoy.ne.jp
絆塾事務局 細神 聖志 携帯:090-8714-5037、メール: katashi.kenmotsu@gmail.com

木野山様の開催と被災地へのお見舞いについて

この度の真備町を中心とした豪雨災害で、亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

木野山様は、明治の初めに西郡でコレラが流行したとき(1822~1877年の間に3回も)、邪気退散や病氣平癒の神として高梁市の木野山神社から分霊を勧進した分社が西郡の郡様につくられました。それ以来、分社を担いで地区内に巡幸し、病氣の平癒、この1年間の災害防止、交通安全など地域の安全安心を祈る行事として、毎年途切れることなく子どもたちに引き継がれてきました。

本年も7月15日(日)午前7時30分から西郡の子どもたちが地区を巡航しますので、暖かくお迎えください。

なお、地区の皆様から子どもたちにいただいたお供えの一部は社会福祉協議会に寄託し、被災された方々への義援金とさせていただきますので、ご了承ください。

西郡自治会
西郡地区の絆を推進する会

【木野山様の巡幸について】

① 木野山様は、西郡地区の5年生、6年生の男女が神像を台車に乗せて巡幸します。

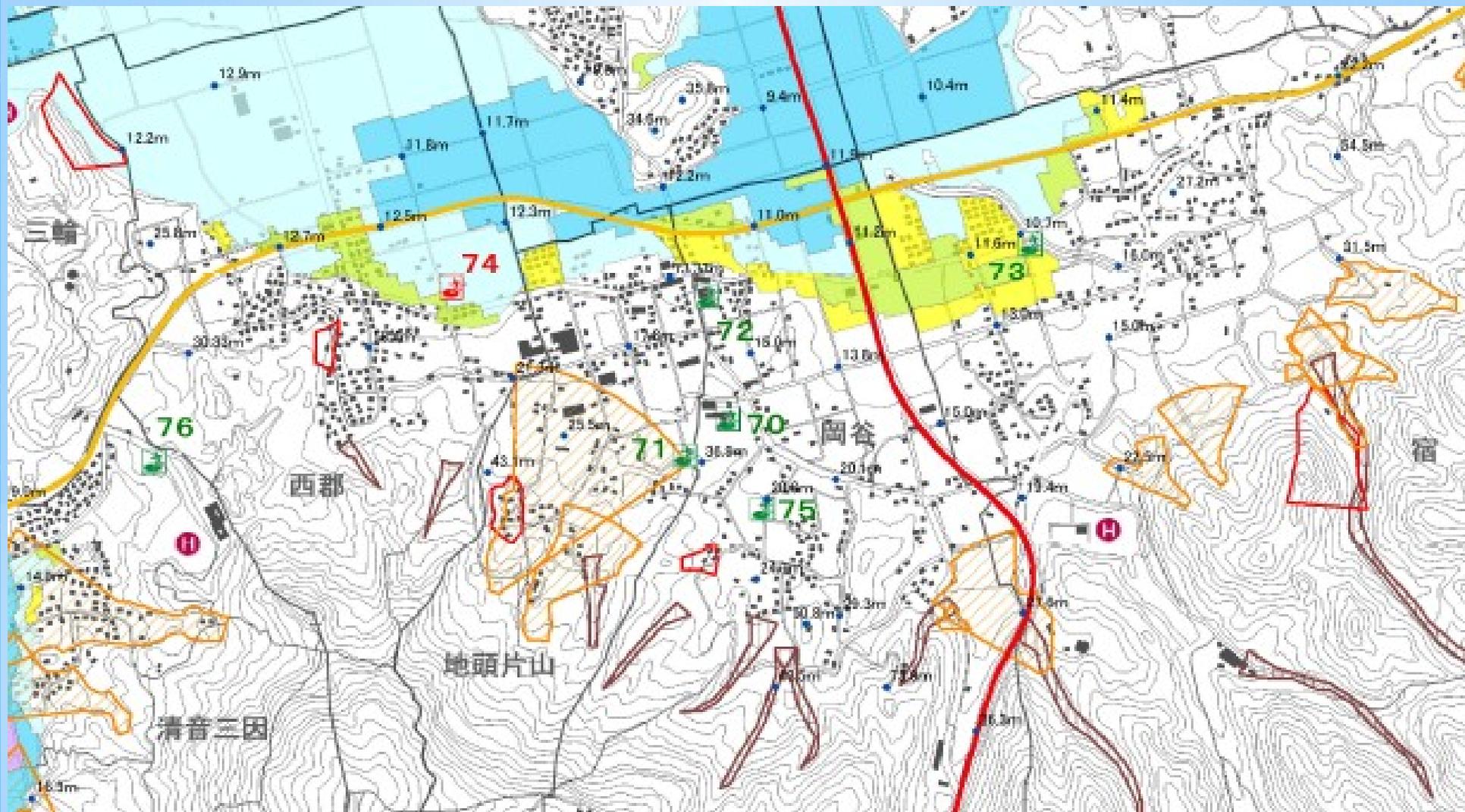
② 子どもたちは大きな声で「おばけにやまきやあせんぞ! (おばけにまけないぞ)」と唱えながら、木野山様を台車に乗せて皆様のお宅の近くまで訪れます。

③ 子どもたちが訪問した際には、「木野山様を押んでください」と大きな声で3回唱和しますので、押んだ後に、お礼やお供えを子供にお渡しください。

④ 子どもたちは、「ありがとうございました」と2回唱和しますので、ねぎらいの言葉をかけてください。



西郡周辺のハザードマップ周知(ニュース8月号)



県道270号線(清音真金線)以北は、2～5mの浸水が予想されます。近隣には、土砂崩れが想定される地域もあります。避難指示がでた場合は、**山手公民館または小学校に避難ください**。詳細は、「**西郡の歴史とくらし(くらし編)**」7ページ、市ホームページなどをご覧ください。

直ちに被害状況を緊急調査(9月号で報告)



福山頂上東鳥居から下へ約30m
山から崩れて道をふさいでいる

八畳岩横の道、岩横から崩れて
道をふさいでいる。



頂上東の鳥居から下へ約20m、道の
2/3が下の片山側へ崩れる。

北の幸山側から登り道が崩れ
ている。



岡谷地区で発生した土砂崩れ



宿地区で発生した土砂崩れ

災害避難情報の周知(10月号抜粋)

1 特別警報、警報、注意報などの違い(気象庁)

①特別警報(6種類)

警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害が発生するおそれが著しく高まっている場合に発せられ、最大級の警戒を呼びかけます。

大雨、暴風、波浪、高潮など6種類の特別警報があります。

②警報(7種類)

重大な災害が発生するおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報です。

③注意報(16種類)

災害が発生するおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報です。乾燥、なだれ、霧、なだれなどが警報の種類に追加されています。

2 総社市から発令される避難情報等について

市からは、避難準備、勧告、指示などが発令されます。次に示す基準で発令されます。

指示が出た場合は早急に避難しましょう。

避難準備・ 高齢者等避難開始

(避難勧告や避難指示(緊急)を発令
することが予想される場合)

- いつでも避難ができるよう準備を
しましょう。身の危険を感じる人は、
避難を開始しましょう。
- 避難に時間を要する人(ご高齢の
方、障害のある方、乳幼児等)は
避難を開始しましょう。

避難勧告

(災害による被害が予想され、人的被害が発
生する可能性が高まった場合)

- 避難場所へ避難をしましょう。
- 地下空間にいる人は、速やかに安全
な場所に避難をしましょう。

避難指示 (緊急)

(災害が発生するなど状況がさらに悪化し、
人的被害の危険性が非常に高まった場合)

- まだ避難していない場合は、直ちに
その場から避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が
及びような状況では、自宅内のより
安全な場所に避難をしましょう。

地域在住の専門家による講演

救急講演会

総社市市民提案型事業

絆塾

救急講演会

日時 11月10日(土) 13:30~15:30

場所 西郡分館(公正館) 入場無料

1 講演「こどもと救急」

講師 塚原 紘平
(岡山大学病院 救命救急災害医学講座 助教)



2 講習 救急処置法、心肺蘇生法、AED等

講師 総社市消防署 救急係



☆申込み締切り 11月 3日(土) まで

☆参加申込み

市広報に添付の参加申込み書を
西郡分館(公正館)郵便ポストに入れる
又は担当者の郵便ポストに入れるか
電話をお願いします。

☆担当者

板野 誠(下2) 31-6944
酒井 浩恵(下5) 31-7627
濱戸 久美子(下9) 31-7797
劔持 堅志(下1) 090-8714-5037
劔持 郁夫(下2) 080-1922-5459

主催 西郡地区の絆を推進する会、山手公民館西郡分館、西郡自治会

後援 総社市、総社市消防本部 協賛 アグリ元気岡山 農マル園芸吉備路農園



救急処置講習会

岡山大学病院 高度救命救急センター



本会は専門家の方々をお招きした講演会を山手地区で開催してきました。

平成30年度は、西郡にお住まいで救急医学や小児救急の専門医である岡山大学病院 高度救命救急センター 助教 塚原 紘平 先生をお招きし、小児救急に関する講演をお願いするとともに、総社市消防署救急隊員の皆様から救急処置法の講習をいただきました。

地域在住の専門家による講演

健康講演会

絆塾

健康講演会



日時 12月9日(日) 13:30~15:30
場所 公正館(西郡分館) 入場無料



講演

狭心症と心筋梗塞のお話
血管を鍛えて予防しましょう

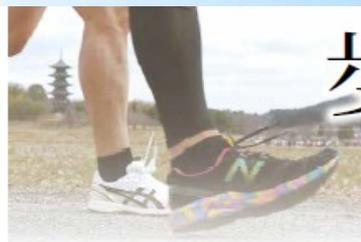
岡ハートクリニック院長
岡直樹先生

◆ 総社市の健康推進事業について
総社市健康医療課

◆ 7月豪雨災害と西郡の取り組みについて
公正館には、歩数計カードリーダー、防災ラジオ
こくっち、Free Wi-Fiなどが設置されています。

☆ 参加申込み書を公正館の郵便ポストに入れるか、
下記担当者の郵便箱又は電話でご連絡ください。先着100名
劍持 堅志(下1) 090-8714-5037 新谷 修(新1) 080-2892-9988
劍持 郁夫(下2) 080-1922-5459 風早 恵(新1) 090-6435-2014
劍持 亨(新3) 92-5850 酒井 浩恵(下5) 31-7627 板野 誠(下2) 31-6944

主催: 西郡地区の絆を推進する会、山手公民館西郡分館、西郡自治会
後援: 総社市、総社市社会福祉協議会
協賛: アグリ元気岡山 農マル園芸 吉備路農園



歩くことで
健康になろう



新しい健康インセンティブ事業

あるとく
“歩得”健康商品券

来年1月
受付開始

(歩いて獲得!健康商品券)

来年度から、健康づくりに取り組む人をサポートしていくために、「歩得」健康商品券事業を始めます。この事業開始に合わせて、ウォーキングコースとランニングコースも整備します。

問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎8259)



1、歩く

“歩得”健康商品券事業とは?

「歩く」ことを中心とした健康づくり施策です。歩数に応じたポイントを貯め、貯まったポイントを市内で使える商品券と交換することができます。

歩数は、市が貸し出す活動量計などを付けて計測。市内約20カ所に設けた専用の端末に活動量計をかざすことで歩数が記録されます。端末と一緒に設置しているタブレットで、貯まったポイントや歩数などを確認できます。

そのほか、健康診査の受診、健康づくり講座などに参加することでポイントも貯めることができます。

また、健康づくりに関する情報やアドバイスを市のメールマガジンで配信し、生活習慣の改善をサポートします。

生活習慣改善のきっかけに、この事業に参加してみませんか。



2、貯める



3、使う

◆ Point 1 ◆

歩いた記録や貯まったポイントは、タブレットで確認することができます。

◆ Point 2 ◆

オペレーターの栄養士が、個々に生活習慣の改善をサポート。市からのメールマガジンでアドバイス。

詳細は
広報紙
1月号に掲載

健康になつて商品券を獲得しよう

山手地区の医療を支えていただいています岡先生に循環器疾患について講演をいただきました。

更に総社市が推進しているする“歩得”健康商品券事業や地域防災に対する西郡地区の取り組み状況についても報告しました。

地域防災への取り組みの強化 「西郡地区の防災を考える会」の発足(9月29日)

1 参加団体

自治会、消防団、土木委員、民生委員、福祉委員、子供会、シルバークラブ分館運営委員、絆塾など11団体の代表など17人が参加した。

地域内の災害発生危険箇所の事前調査、高齢者や避難弱者の方々の避難に向けた連絡体制や見守りの強化、事前把握の必要性などについて議論した。

2 第1回会議(9月29日(土)公正館)

①7月豪雨災害 総社市の被害の実態などについて

総社市消防署教養訓練係 主査 永野 男 氏から凄まじい災害のつめ跡や発生直後からの救助活動の実態をパネル写真も交えて説明を受けた。

②気象変化が与える災害発生への影響について

絆塾から、地球温暖化による気候変動が今までの防災インフラの想定を越えていること、また南海トラフ大地震で想定される影響について報告した。

3 第2回会議(12月22日(土)公正館)

水害とアルミ工場爆発事故に遭遇したにもかかわらず、1名の犠牲者を出すことなく全員避難を達成した下原地区の自主防災組織の取り組みについて、同地区自主防災組織副本部長の川田一馬さんをお招きし、被災状況や自主防災組織の活動についてご講演いただいた。

「西郡地区の防災を考える会」第1回会議 総社市消防署 永野 男 氏 からのアドバイス



- ・防災の基本は人命確保を第一に ・危ないと感じたら頑張るのではなく、すぐに下がる
- ・行政などからの災害情報を早期に収集し、避難指示が出されたら直ちに避難を
- ・近所との日頃からのコミュニケーションが大事、アパートに住む人たちとも積極的に交流を

「西郡地区の防災を考える会」第2回会議の開催

12月22日（土）

自治会、消防団、土木委員、福祉関係者など多くの皆様が公正館に参集し、アルミ工場の爆発などの被災を受けたにもかかわらず、**1名の犠牲者を出すことなく地区民全員の避難を達成した** 下原自主防災組織副本部長 川田 一馬氏の**経験談**をお聞きした。

会議後、今後の西郡地区の防災のあり方を話し合った。



「西郡地区の防災を考える会」第2回会議

西日本豪雨・アルミ工場爆発時の地域住民の避難 ～下原・砂古地区 自主防災組織の取り組み～

講師 下原・砂古自主防災組織
副本部長 川田 一馬 氏



平成30年7月豪雨のアルミ工場の爆発事故の被害を受けたにも拘わらず、**1名の犠牲者も出さずに**全員の避難を達成された「**下原・砂古自主防災組織**」の川田一馬氏を招聘して講演会を開催した。川田氏からは、**日頃からの災害への地道な備えが大切なことを学んだ。**

防災を考える会の活動(1)

連絡網の整備

要支援者名簿の作成

- ・避難行動要支援者名簿(市町村に作成義務)の活用
高齢者・障がい者・乳幼児等の特に配慮を要する方の把握
名簿の作成(同意名簿、不同意名簿)

安否確認方法の確立

- ・連絡責任者の選任

災害時緊急伝達の方法

- ・メール、Line、Facebook、こくっちなどの活用
- ・サイレン、広報車の改善・整備、消防車巡回などの活用

防災を考える会の活動(2)

避難訓練の実施

- 来年度から年1回程度実施する 災害想定(水害・地震)
- 現在の避難場所 公正館、山手公民館、山手小学校
- 移動経路の選定 災害想定別
- 移動手段の選定 避難行動要支援者
- 複数ケア体制 避難行動要支援者

防災用品の整備

防災備蓄の推奨、非常食防災グッズ、簡易トイレ、非常用発電機などの整備

防災を考える会の活動(3)

地区内危険個所の調査と住民への周知

- ・危険な水路把握
- ・地区内ため池の点検
- ・土砂崩れの危険性の把握

総社防災シンポジウムの開催

(令和元年8月25日、山手公民館)

- ・山手地域づくり協議会、総社市との連携

防災専門家の招聘、山手6地区自治会、消防・防災組織代表者によるシンポジウムを開催し、山手地区全体の防災意識を高める。

「総社防災シンポジウムの開催」

総社防災シンポジウム(案)

総社市が安心の地域でなくなったことを知り、みんなで安心して暮らせる地域を創るためには、どんな活動や努力が必要なのかを講師の皆様や防災関係者の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

○基調講演

- ・高知県立大学大学院看護学研究科(災害看護学)
教授 神原 咲子 先生
- ・下原自主防災組織 川田 一馬氏 から活動と体験報告
- ・AMDA(アジア医師連絡協議会)の役割 推薦講師

○パネルディスカッション

講演者の皆様とともに、総社市の防災に取り組んでいる防災関係者(市防災関係部署、そうじゃ防災士の会)や地域防災を担う関係者の皆様と忌憚りの無い意見交換を行い、今後の地域の防災のあり方についてを探ります。

○開催日 8月25日(日) 13時30分～16時00分

○会場 総社市山手公民館

○主催 西郡地区の絆を推進する会

共催 総社市
山手地域づくり協議会、西郡自治会

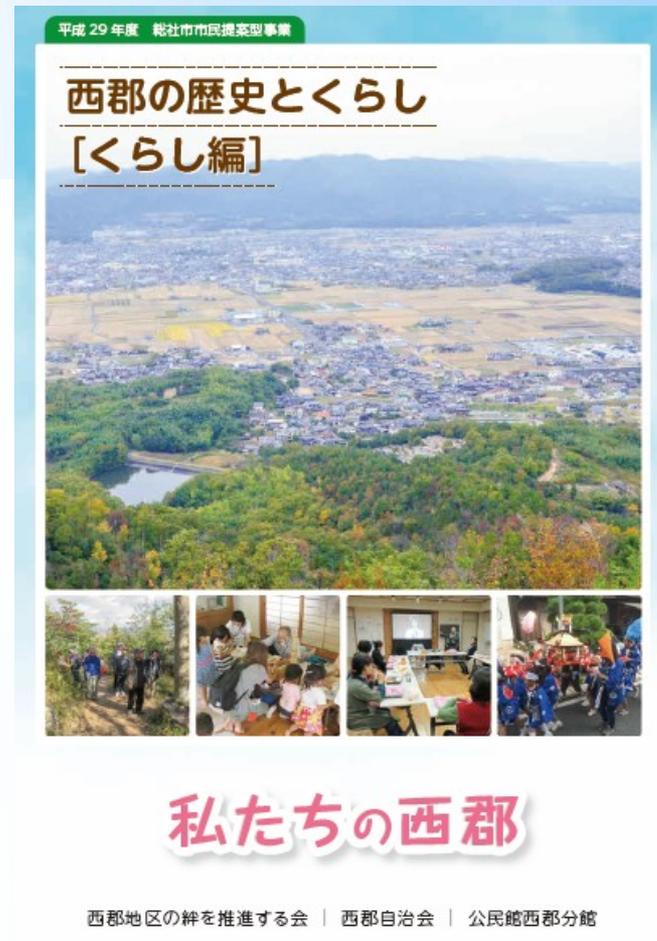
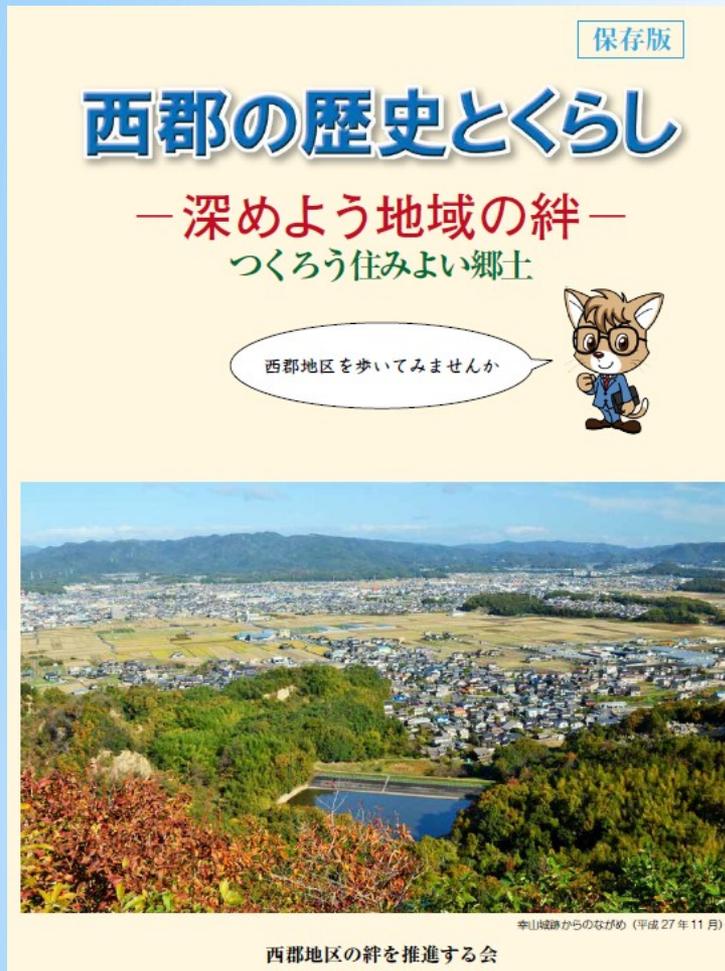
協賛 総社市社会福祉協議会
農マル園芸吉備路農園

真備町のお生まれで今回の西日本豪雨災害に遭遇された高知県立大学大学院教授神原咲子先生(専門:災害看護学、総社高校ご出身)をお招きして災害時における健康支援活動についてご講演をいただきます。

また、洪水と爆発事故に遭遇したにもかかわらず1名の犠牲者を出すことなく住民全員の避難を達成した下原地区の自主防災組織川田一馬氏から避難訓練の重要性について、今回の災害において多大な医療支援をいただいたAMDAから災害時の医療支援についてご講演をいただきます。

パネルディスカッションでは、講師の先生方とともに、総社市の防災関係者、地域防災を担う関係者の皆様と今後の地域の防災のあり方について探ります。

「西郡の歴史とくらし」3部作 「防災編」の発刊



今後の「西郡地区の防災を考える会」の活動によって得られる様々な**防災情報**(危険箇所、避難場所の案内、避難訓練、過去の災害の記録、ハザードマップなど)をまとめた「**防災編**」を発刊し、地域情報誌3部作としてとりまとめ、住民の周知していく。

今後の取組

- (1) 「西郡地区の防災を考える会」を主体に、住民が自主的に参加できる避難訓練、危険箇所の調査、避難経路の作成などを行い、地域の安全と安心を強化していく。
- (2) 「総社防災シンポジウム」を本会、総社市及び山手地域づくり協議会と連携して開催し、地域の防災力を強化する。
- (3) 上記活動で得られた成果（地域内の危険箇所、避難場所、ハザードマップなど）をまとめた「防災編」を発刊する。
- (4) 今までに整備してきた広報・情報機器について、マニュアルの整備、出前講座、イベント開催の機器操作の応援などによりこれらの機器を住民が活用できる態勢を整えるとともに、地域に残る伝統や文化を若い世代や継承する。
- (5) 平成32年春の共有地の自治会移管と自治会の地縁法人化を目標に、地区への周知と事務作業を着実に進める。